

【教員の教育研究業績等】

氏名	関 維子	所属	幼児教育学科	職位	講師
研究分野	社会学／教育学関連分野	学位	修士(社会福祉学)		
資格・免許	社会福祉士／公認心理師				
担当教科	特別支援教育論、子育て支援、施設実習指導				
教育上の能力及び職務上の実績に関する事項					
事 項					年月日
1 教育方法の実践例 担当授業は演習の科目のため、可能な限り、グループディスカッションやグループ発表等のアクティブラーニングを取り入れた授業を実施している。また、学生が自身の考えを書き込んだり、グループで意見交換をする際には、事例検討のワークシートを使用している。当該科目を履修している学生は幼稚園教諭及び保育士資格の取得を目指しているため、理論的な学習だけでなく製作や発表の機会も設けている。					令和2年度～
2 作成した教科書、教材 1. 事例を通して学びを深める施設実習ガイド(共著、ミネルヴァ書房) 2. 施設実習Ⅰ・Ⅱ 実習の手引き(共著、田園調布学園大学) 3. 子どもの育ちを支え安全を守る幼稚園・保育所・施設実習(共著、大学図書出版)					平成30年5月 平成30年4月・平成31年4月 令和2年4月
3 教育上の能力に関する大学等の評価 学生による授業アンケート:令和2～3年度前期の授業について「満足度」が5段階で4.0～4.5の評価である。学生自身も積極的に授業や課題に取り組んでいることが窺えた。					令和2年度 令和3年度
4 実務の経験を有する者についての特記事項 埼玉県「発達サポーター養成研修」及び「幼保から小学校へ支援をつなぐ特別支援教育研修」地域連携講座の講師 保健福祉振興財団「埼玉県保育士等キャリアアップ研修」講師					平成27年度 平成28年度 令和3年度 令和4年度
5 その他 社会福祉法人ル・プリ「くるみ会」施設オンブズマン 田園調布学園大学 共同研究 「障害のある子どもを持つ親のワークライフバランス～共生社会実現に向けた具体的検討」(U1085 研究代表者 引馬知子)					令和元年10月～ 平成30年度 平成31(令和元)年度
研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	
(著書) 1. 出生前診断の法律問題 2. 事例を通して学びを深める施設実習ガイド 3. 子どもの育ちを支え安全を守る幼稚園・保育所・施設実習		共著 共著 共著	平成20年5月 平成30年5月 令和2年4月	尚学社 ミネルヴァ書房 大学図書出版	
(学術論文) 1. ダウン症の子どもを持つ母親の「障害をめぐる揺らぎ」のプロセス—障害のある子どもを持つ母親の主観的経験に関する研究		単著	平成23年3月	日本女子大学紀要『社会福祉』第51号	
2. 障害のある子どもを持つ親の就労に関する文献検討—障害児の親のワーク・ライフ・バランスに関する予備的研究		単著	平成31年3月	田園調布学園大学紀要第13号	
3. 重度知的障害者のグループホーム入居に対する親の態度—重度知的障害のある人の生活の場の移行に関する研究①		単著	令和3年	秋草学園短期大学紀要38号	
4. 重度知的障害者の親がグループホームを選択する基準—重度知的障害のある人の生活の場の移行に関する研究②		単著	令和3年	秋草学園短期大学紀要38号	

(その他)			
1. 告知をめぐる母子関係の変容と支援-ダウン症児の母親と自閉症児の母親の語りにおける専門家との関係 (ポスター発表)	単独	平成16年7月	日本発達障害学会 (第39回大会 愛媛大学)
2. 障害がある子どもを持つ母親とピア・グループ-障害告知をめぐる母子関係の変容過程と要因 (ポスター発表)	単独	平成16年9月	日本特殊教育学会 (第42回大会 早稲田大学)
3. 自閉症児と母親の関係変容プロセスと要因-障害のある子どもを持つ母親の自己変容に関する研究 (口頭発表)	単独	平成17年10月	日本社会福祉学会 (第53回大会 東北福祉大学)
4. 障害のある子どもを持つ母親の内的変容プロセス-気づきから確定診断まで (口頭発表)	単独	平成21年6月	日本女子大学社会福祉学会 (第16回大会 日本女子大学)
5. 障害のある子どもを持つ母親の内的変容プロセス-「ずれ」をめぐるストーリー (ポスター発表)	単独	平成21年8月	日本発達障害学会 (第44回大会 岩手大学)
6. 障害のある子どもを持つ母親の主観的経験-「ずれ」をめぐるストーリー (口頭発表)	単独	平成21年10月	日本社会福祉学会 (第57回大会 法政大学)